



町、町議会、国、県、国会議員、県議会議員らが現地を視察し、漁業関係者らと被害状況や対応策などについて協議



赤潮被害で死んでしまった魚を陸揚げする漁業者たち

赤潮発生状況と経過

- 7月2日 県赤潮警報発令。葛輪、宮ノ浦で被害発生
- 3日 脇崎で被害発生
- 4日 茅屋沖に着色域、塩を散布
宮ノ浦から市来崎へ一部いけすを避難
- 6日 口之福浦、茅屋で塩散布
茅屋で一部緊急出荷。福ノ浦で斃死
- 7日 口之福浦、茅屋で斃死。埋設開始
- 8日 町赤潮対策本部設置
県赤潮対策本部設置
副町長ほか現地視察
- 9日 町長ほか現地視察。町議会現地視察
県商工労働水産部次長、水産振興課現地視察
小里衆議院議員現地視察
- 10日 水産庁現地視察
薄井、福ノ浦、三船、本浦、葛輪、茅屋、北方崎で死魚回収
- 14日 県が被害状況発表
被害匹数 389,000 匹
(東町漁協 273,000 匹、北さつま漁協 116,000 匹)
- 18日 民主党県議団、皆吉衆議院議員現地視察
- 22日 市来崎へ避難したブリが斃死
茅屋港前のいけすを浜漕に避難
町長、副町長ほか現地視察
- 23日 教育長ほか現地視察
薄井、幣串で大量斃死。埋設
- 24日 各地に斃死拡大
町長、副町長ほか現地視察
加治屋参議院議員、中村県議、県商工労働水産部長ほか現地視察
- 25日 薄井、伊唐、幣串、宮ノ浦、脇崎、茅屋ほか死魚回収
県水産振興課技術補佐現地視察
- 26日 町長、副町長ほか現地視察
宮ノ浦、薄井、伊唐で大量の斃死
本浦、葛輪で斃死
県が2度目の被害状況発表
被害匹数 1,444,500 匹
(東町漁協 1,327,500 匹、北さつま漁協 117,000 匹)
- 27日 薄井、茅屋は埋設処理ほぼ終了
宮ノ浦、伊唐、葛輪、本浦は埋設処理継続
副町長ほか雇用対策について県へ陳情
- 8月2日 鹿児島県赤潮警報解除
- 8月9日 県が3度目の被害状況発表
被害匹数 1,703,000 匹 被害額 36 億 8000 万円
(東町漁協 33 億 4000 万円、北さつま漁協 3 億 4000 万円)

